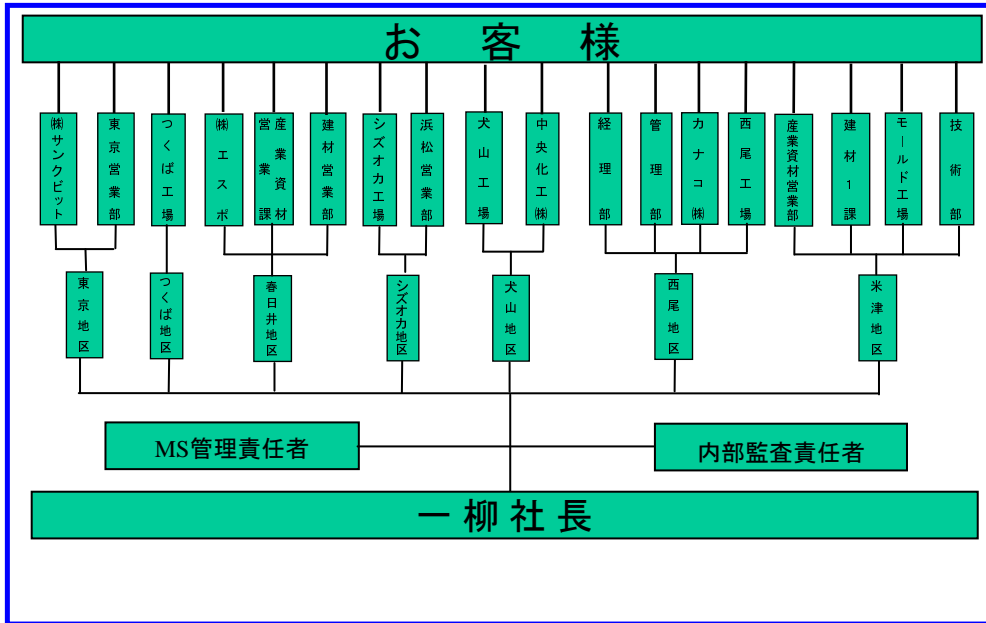


Ⅶ 品質・環境マネジメントシステム適用範囲・管理体制

適用範囲
1. 部門 全社
2. 対象範囲
発泡樹脂製品の設計・製造及び販売



金山化成株式会社 品質・環境マニュアル

10-03

I 企業文化

誠実 創造 挑戦
誠実な志を持ち、豊かな創造力を発揮し、積極果敢に挑戦します

II 行動指針

—お客様第一—
1. 「省資源」「リサイクル」を推進し、地球環境に貢献する企業を目指します
2. お客様に信頼され、満足していただける品質を提供します
3. 敏速な「判断」「行動」で変化に対応します
4. 常に自己研鑽を怠らず、活力ある人材を育てます
5. 働きがいのある職場、地域に誇れる企業をめざし会社の繁栄と発展で豊かな生活を築きます

III 基本スローガン

スピーディーな対応! 変化を恐れず、即実行!

IV 経営方針・経営目標

『変化対応・スピード・実行力』
【営業】
『どんなに市場が変化しても、当社は必ず生き残る!強い会社にな!』
・建材用断熱材販売拡大 ・自動車内装部材/物流関連資材の受注拡大 ・省エネ、環境関連への拡販
【製造】
・省エネルギーの推進 ・お客様第一 ～クレーム0を目指す～ ・改善・合理化の推進 ・安全操業実施
【技術】
・商品開発技術、商品の具現化、量産化 ・工場生産性向上、合理化 ・営業と連携を取り物件受注に協力
【総務経理】
・当社版事業継続計画(BCP)の運用 ・定期採用・社員教育 ・人事システム活用
・フリーキャッシュフローの改善 ・与信管理の強化
2016年 4月 1日
代表取締役社長 一柳 典行

Ⅷ 品質・環境に関するご意見・ご要望の対応

1. 当社では、お客様・付近住民皆様からの品質環境に関するご意見・ご要望に迅速に対応させていただきます。
2. お客様満足度調査のお願い ----当社では、お客様の声を何物にも代えがたい『宝』であると認識しております。頂戴いたしました『宝』は、必ずや当社製品の更なる向上・継続的改善の為に活用させていただきます。当社および当社製品についてご意見、ご要望をお聞かせいただけますようお願い申し上げます。

Ⅸ 関連規格および用語の定義

1. 関連規格 (1)国際規格 ISO9000:2015 品質マネジメントシステムの基本・用語 ISO9001:2015 品質マネジメントシステムの要求事項 ISO14001:2015 環境マネジメントシステムの基本・用語 ISO14001:2015 環境マネジメントシステムの要求事項 (2)国内規格 JISQ9000:2015 品質マネジメントシステムの基本・用語 JISQ9001:2015 品質マネジメントシステムの要求事項 JISQ14001:2015 環境マネジメントシステムの基本・用語 JISQ14001:2015 環境マネジメントシステムの要求事項	2. 用語の定義 本『品質・環境マニュアル』、『共通マニュアル』および『個別マニュアル』に使用する用語の定義は、JISQ9000:2015、JISQ14001:2015に定義する用語、その他の用語については共通マニュアルの『用語対応表』に定義する。
---	---

金山化成株式会社 Ver. 12 制定 2016年10月1日

〒445-0816 愛知県西尾市宮町260
TEL: (0563)56-2211 FAX: (0563)56-6974 URL: http://www.kk-g.co.jp/

承認	審査	起案
一柳	金山	竹田

V 環境方針

当社は、発泡樹脂製品の設計、製造及び販売により、地球環境の保全が人類共通の重要課題の一つであることを認識し、経営活動のあらゆる面で製品環境品質に配慮して行動します。

I 継続的改善
地球環境に影響を与えている項目を重点管理項目として、継続的に改善を行います。

II 廃棄物の削減・再利用
廃材をはじめとする廃棄物の削減および再利用を積極的に図るための活動を行います。

III 省エネ・省資源、グリーン調達
顧客の製品環境品質要求を遵守し、設計・製造・販売の全ての段階において、省エネ・省資源に努め、グリーン調達を推進します。

IV 汚染の予防と法的要求事項の順守
汚染の予防、法的要求事項、外部からの要求事項の順守は自らの責任において行いさらに、目的・目標を設定し、その実現を図ります。

V 方針の徹底と社内教育
全社員が、環境問題への取組の重要性を認識し実行するため、この環境方針の徹底と社内教育に努めます。
2016年 4月 1日
代表取締役社長 一柳 典行

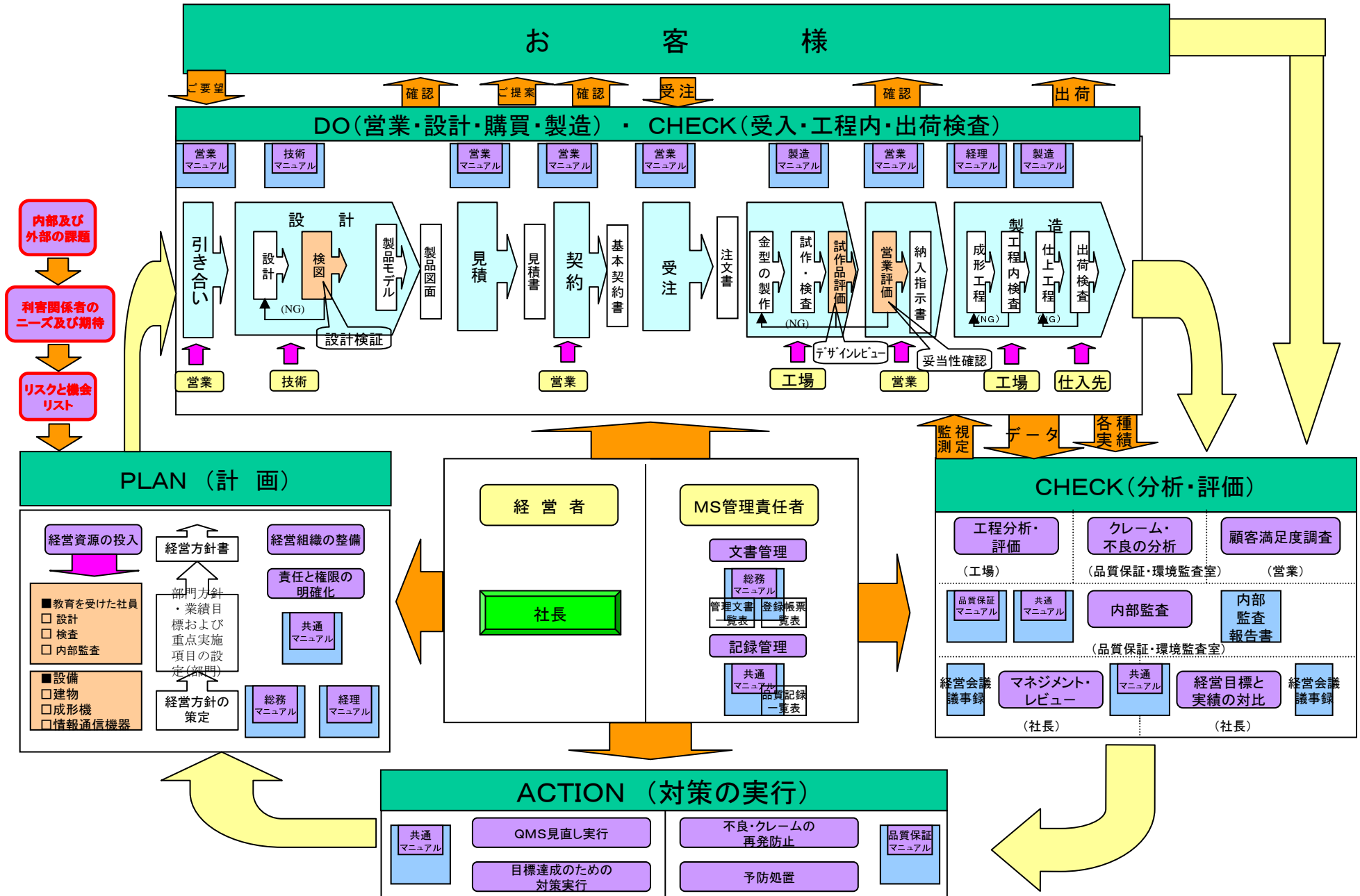
VI 環境目的・目標

CO2排出削減
1. EPS建材製品を拡販してCO2排出削減に貢献していきます。
2016年度末迄に2013年度比で、CO2排出量を15%削減します。

省資源
3. 2016年度末迄に2013年度比で、原料使用原単位ロスを1.5%削減します。

リサイクル
4. 2016年度末迄に2013年度比で、製品不良率を10%削減します。
5. 環境配慮型商品の研究・企画、開発、販売の実現を目指します。
6. 産業廃棄物のリサイクルを推進します。

品質マネジメントシステム概念図(QMS Overview)



環境マネジメントシステム概要図

利害関係者(従業員・同業者・顧客・住民・行政・業界団体・金融機関・株主・仕入先・協力会社)

利害関係者

利害関係者

